

王滝村 東地区

口コミによる防除対策の広がり

木曾地区野生鳥獣被害対策チーム

総面積310.86Km² 田0.33 畑0.30 山林295.85(95%)

空からの王滝村

立体的に王滝村とその周辺を眺めると、あらためて御嶽山との関わりが深く、また木曽郡最西端の険しい地勢や、森林と水資源の豊かさを見ることができます。
(高度およそ3500mからの王滝村)



森林率95% 宅地や農地が点在



村の主産業は観光

山岳信仰の信者を全国から集める
御岳山(標高3,067m)

結氷をはじめた「新滝」



山林の隣接して宅地・農地が点在

この山の上にも人家が点在

今年は人家近くにもクマが...



被害の状況

王滝村／木曽郡

耕地面積 2%

森林面積 21%

		木曽郡(A)	王滝村(B)	比率B/A%	被害作物
農	業	21,301	996	5%	
	ニホンザル	6,147	375	6%	野菜
	イノシシ	10,002	157	2%	雑穀・芋
	ツキノワグマ	1,297	77	6%	果樹
	ハクビシン	1,080	266	25%	雑穀・果樹
	その他	2,775	121	4%	豆類・雑穀
林	業	80,330	10,391	13%	
	ニホンザル	3,752	150	4%	シイタケ
	イノシシ	2,054			
	カモシカ	4,152	1,578	38%	ヒノキ
	ツキノワグマ	69,764	8,665	12%	ヒノキ
	その他	608			
水産業		7,560	町村別不明		
合計		109,191	9,661	14%	水産を除く比率

被害対策の3本柱

緩衝帯整備
誘引物の除去
環境整備

防除対策

防護柵
電気追払い

個体数
調整

ワナや檻
銃器



被害対策の現状

電柵を張り防除している畑



個人で対策を実施

駐在の普及指導員が居たころは、その指導・助言により被害対策が行われていた。

電柵によりイノシシ対策を共同で実施した田畑



獣害対策組合(31名)共同で対策を実施

これまでの防除対策の経過等

経過

- ・ 平成16年度の実績
27件の申請・・・大部分がネット等の物理柵
- ・ 平成17年度以降中断していた「有害獣防除事業補助金」を平成22年度から再開
- ・ 平成22年度現在の申請
農家総数17件（個人13件 共同4件）
要望が多く当初予算を9月で2.5倍に増額
・・・大部分が電気柵

実施した被害対策について

農林産物の被害対策

- ・ 防除対策：学習会、現地研修会等
電気柵等の設置
追払い（花火等を利用）
村内の一部の地区では
モンキードックを活用



- ・ 生活環境：緩衝帯整備



- ・ 捕獲対策：捕獲檻等を用いた捕獲対策

被害対策の実施状況



売られたケンカを買うには・・・。
相手を知って、受けて立つために

春先に実施される地区ごとの行政連絡会議において、プロジェクターを活用して、鳥獣対策についての学習会を実施

有害獣防除事業補助金 制度を活用しましょう！

平成22年 4月
役員定率課農業係

被害にあう前にしっかり防除対策して農作物を守ろう

～有害獣防除事業補助金制度が一部改正されました～

防除資材（網・電気柵など）の購入費について下の表のとおり助成されます。購入した際の領収書を持参し、設置する農地の場所を明らかにして農業係へ申請して下さい。

なお、共同で広く囲いたい場合や、販売農家向けの国の補助事業などについては農業係までご相談下さい。

平成22年4月1日から適用

申請内容	補助限度額	補助率ほか
個人で実施する場合	年間1人50,000円以内	10分の5以内
複数（2戸以上）で 共同実施する場合	上記に加え1申請につき 上限30,000円を超過	個人補助限度額（5万円/年） を超える場合のみ
※国の補助事業対象の場合	1事業につき 300,000円以内	対象事業のうち資材費に かかる受益者負担額の 10分の5以内

※国の補助事業対象：①3戸以上で1団地を共同実施 ②投資効率（費用対効果）1.0以上
③耐用年数5年以上 のすべてに適合し採択されたもの

花火などで追払いをしましょう！

地区説明会で追払い用の花火・爆竹を配布しています。（区長さんに渡してあります）サル等を見かけたら地域ぐるみ（農家、非農家すべての方）で必ず追払いを行って下さい。人家や農地が危険な場所だと学習させることが重要です。

被害にあったらすぐ連絡を！

農作物の被害が発生した時は、すぐに産業課へお知らせ下さい。被害現場へ同行して対処法を検討すると共に、被害届を出していただくことで駆除が可能となります。また、誤った電気柵の設置による被害も発生していますので、電柵の設置などの再確認をお勧めします。

裏面もご覧下さい♪♪

各戸にチラシの配布と、追払い用の花火（ロケット花火・爆竹）を配布

●チラシは防除対策と新規狩猟者に対する補助を紹介

被害対策の実施状況（農林産物の被害対策）

防除対策：蚋・イソツ・ハクビ シュ用用電気網の設置



現地にて被害状況を把握し、防除対策の方法・概略の経費などについて説明会を実施

購入店にてアドバイス

所有者、メーカー、役場、対策チームで研修会を兼ねて設置を共同で実施

被害対策の実施状況（農林産物の被害対策）

防除対策：サル・イノシシ・ハクビシ用電気柵の設置



以前はイノシシ用の電気柵を設置していた。



サルの被害が多くなりワイヤーメッシュ（5×5センチ）＋電気柵5段を設置

被害対策の実施状況（農林産物の被害対策）

防除対策：サ・イッ・ハビ ショ用電気網の設置



作業効率を向上させるため、結束バンドを利用

（結束バンドは耐久性を考慮して野外用を使用）

被害対策の実施状況（農林産物の被害対策）

防除対策：電気網の設置前



準備

- ① 周囲の杭打ち、テープ張りを実施
- ② 整地及び石、根株の除去及び周辺林（林及び庭木）の伐採

被害対策の実施状況（農林産物の被害対策）

防除対策：電気網の完成



集落住民により鳥獣害防止総合対策事業を活用した電気柵の設置

資材費 225,030円 補助金 112,515円 自己資金 112,515円

3名の共同設置 1,680円/m（電牧器抜き）

交付金を活用した電気柵の設置

設置前



完成



被害対策実施までの経過

- ・4月上旬 地区単位に懇談会を実施(役場)
- ・4月下旬 被害対策について、所有者に現地で説明(チーム・役場)
- ・5月中旬 取扱いメーカーと資材打合せ
(所有者・チーム・役場・メーカー)
- ・5月下旬 電気柵設置
(所有者・チーム・役場・メーカー)
- ・6月以降 効果や状況を聞き取り
(チーム)

打合せのポイント

【現地確認事項】

- ・加害鳥獣の特定
- ・地形や立地条件（入口、利用する農業機器、電気の有無 など）

【所有者が主に知りたいこと】

- ・構造と経費
- ・メンテナンスの方法と維持費
- ・どこで、どの様に購入したらいいのか

資材購入時のポイント

【メーカーに対して】

- ・資材を売る前にできるだけ現場に出向いてもらう。
- ・どんな鳥獣の被害に遭っているかを確認
- ・メンテナンスについての説明

△ 誤った設置により

「電気柵は効果がない・・・」とうわさが流れないように

設置時の指導ポイント

- なぜこの資材を選んだのか、なぜこの構造（高さなど）なのかを説明しながら設置を進める
- 加害鳥獣がどの様に侵入しようとし、どの様な状況になり侵入しないのかを説明
 - (例) 電気の流れ(感電)の仕組みを理解することで、誤った設置を防ぐ。
- 設置後は維持管理の必要性を十分理解してもらう

設置後のポイント

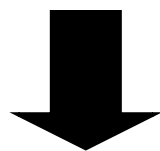
- 設置後の被害の有無を必ず確認
- 効果について口コミをお願い
- 興味があるリーダー的人材へのアタック
- 集落単位でなく、たとえ1人でも要望があれば相談に乗る
- 対策を実施した人の話を重要視する
(口コミによる効果を期待)

効果について（防除対策）

○電気柵を設置して

【所有者の感想】

- ・被害が無くなり安心して作物が作れる



- ・来年はトウモロコシも作れそう

個々の規模は小さくても、安心して暮らすことができる山村地域を

被害対策の実施状況（木曽地区全体） 学習会



- 6月 ニホンザル・ツキノワグマの生態と防除対策
- 11月 ニホンジカ・イノシシの生態と防除対策
- 1月 防除対策の基本・電気柵の設置ポイント

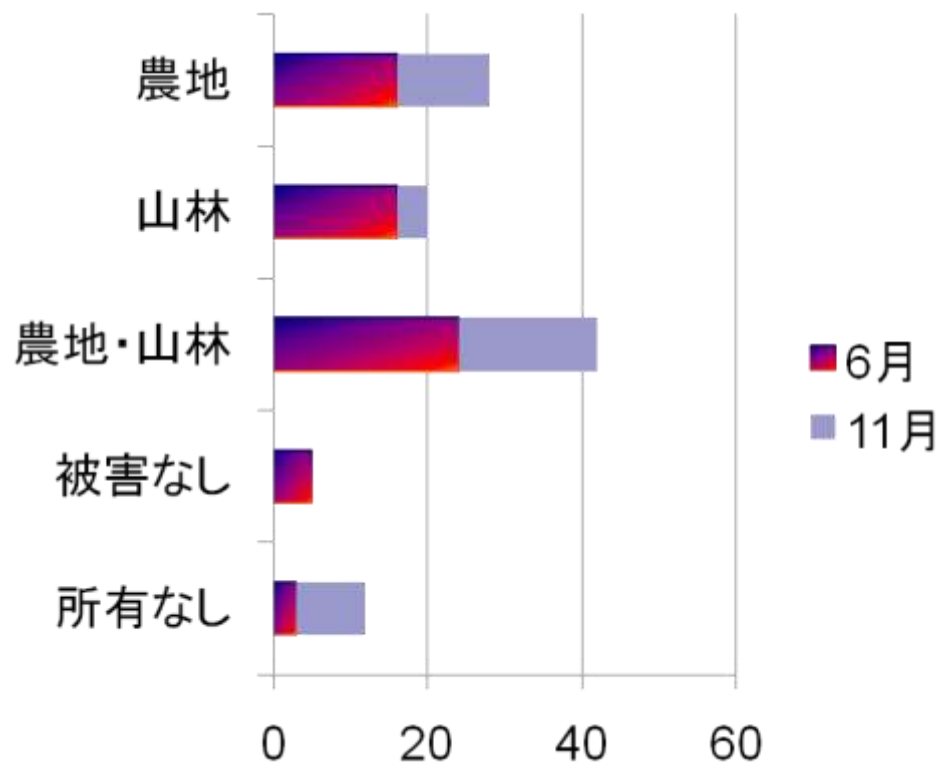
野生鳥獣被害対策についてのアンケート結果

回答者113名 回収率61%

Q:所有している農地
や山林で、野生鳥
獣による被害にあ
ったことがあります
か。



85%の人が被害
にあっている



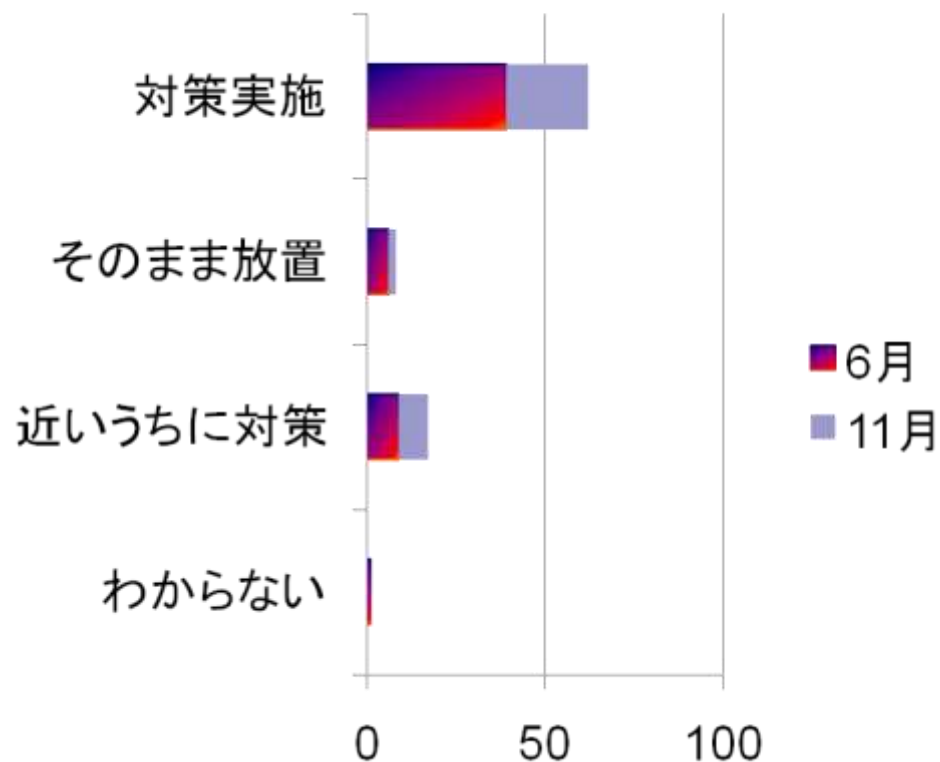
野生鳥獣被害対策についてのアンケート結果

回答者113名 回収率61%

Q:被害にあったことのある方にお聞きします。



70%の人が何らかの被害対策を実施している。



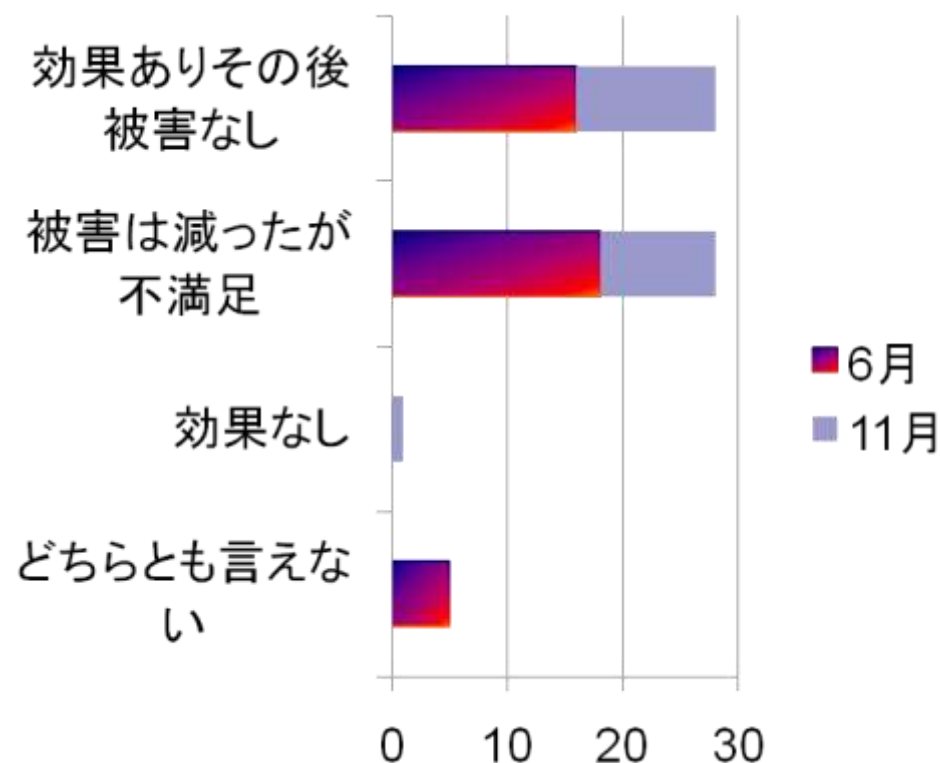
野生鳥獣被害対策についてのアンケート結果

回答者113名 回収率61%

Q:防除対策を実施した効果について。



50%の人がその効果に満足していない。



アンケートの結果から

- ・電気柵や物理柵・テープ巻きなど、何らかの防除対策を実施している人が大半
- ・その一方、対策効果には**約半数の人が満足していない**

【原因】

- ・加害鳥獣に対応した対策になっていないのでは
電圧 設置方法 メンテナンスが不十分・・・

防除対策の点検

- ・アースが不十分
- ・設置位置に問題



- ・メンテナンス不足による漏電



防除対策の点検

・サルの侵入経路の遮断



・電牧器からの配線の不具合



防除対策の点検

- ・メンテナンス

(食い破られたネットの補充)



- ・設置位置の検討

(堅い地盤へ移動し、穴掘り対策)

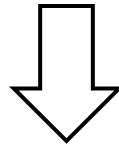


課題

今後のチームの活動に向けて

- ・アンケート結果及び現地調査の結果から
防除対策の効果を検証

機能が十分発揮されているかの現地指導



- ・所有者を含めた現地機能診断の実施
- ・町村担当者の育成・助言
- ・販売メーカーへの助言

職員によるクマ対策

ククリ罠(錯誤捕獲)で捕獲されたクマに麻酔を発射

麻酔により眠ったクマ
(オス76Kg)



職員によるクマ対策

イノシシ檻(錯誤捕獲)で捕獲
されたクマに麻酔を発射

発信機を装着して放獣作業

